

「生活意識に関するアンケート調査」(第7回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、毎年、全国20歳以上の男女個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに窺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間...平成10年11月26日(木)～12月6日(日)
- ・調査対象...全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数...4,000人(有効回答者数3,195人<有効回答率79.9%>)
- ・抽出方法...層化2段無作為抽出法
- ・調査方法...設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果の概要)

1 . 現在関心を持っている経済問題

引き続き「景気」に対する関心が最も高い。前回の調査（10年3月実施）に比べると、「景気」、「雇用、収入」に対する関心が高まっている一方、「金融システム問題」、「金利」に対する関心は低下している。

2 . 景況感

足許の景気については、前回の調査に比べ、「悪くなっている」と感じる人が増加する一方で、「良くなっている」と感じる人はほとんど皆無となるなど、さらに厳しい判断となっている。先行きは「現在と変わらない」と予想する人が多い。

景気が悪くなっていると感じている人の中では、「現在の不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻である」との回答が増加している。また、景気を判断する方法としては、「なんとなく漠然と」が減少する一方、「勤め先や自分の店の経営状況から」、「自分や家族の収入の状況から」といった、回答者の雇用・事業・収入に直結するものがウェイトを高め、前回の調査に比べ、全般的に切実さの度合いが増していることが窺われる。

3 . 暮らし向き、消費意識

(1)現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては、給与等の定例収入の減少などを背景として、「1年前と比べて苦しくなってきた」との回答が増加している。

(2)収入、雇用環境

収入については、「1年前に比べて減った」との回答が増加、「増えた」とする人は1割を切っている。

この間、雇用や事業について「不安を感じている」と回答した人は8割に達しており、うち「かなり不安を感じている」と回答した人は全体の4分の1まで増加している。

職場での合理化・リストラについては、「行われた」ないし「まだ行われていないが、今後行われる予定だ」と回答した人が4割を超え、さらに、その内容も「給与カットや賃金制度の見直し」のウエイトが高まるなど、収入・雇用面での厳しさが窺われる。

(3)支出

支出については、「1年前と比べて減らしている」との回答が4割強。

支出を減らしている理由としては、前回から上位に挙がっていた「将来の仕事や収入に不安があるから」、「年金や社会保険の給付が少なくなるとの不安があるから」に加え、「不景気やリストラ等による収入の頭打ちや減少から」の増加が目立っており、支出の削減が、将来の不安に対する予防的な動きにとどまらず、現実の収入減に伴う対応といった色合いも濃くなっていることが窺われる。

支出を増やすための条件としては、「消費税率の引き下げ」との回答が最も多く、他の「恒久減税」や「住宅・教育ローン等保有者を対象とした政策減税」、「特別減税」とあわせて、

税制面での措置を条件とする人は全体の77%となっている。このうち、税制面での措置と同時に「年金改革や財政赤字に対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する」ことが必要と考える人は全体の28%と、税制面での措置のみ挙げる人（全体の24%）を上回っており、短期的な景気対策に加え、中長期的な財政構造の改革等をあわせ求める声強い。

4．家計の資産・負債

(1)住宅購入

現在マイホームの購入や買い替えを計画している人は、全体の8%。

非持家層がマイホームを購入するための条件としては、「雇用・収入の不安がなくなれば」との回答が最も多くなっている。

(2)借入、資産・負債バランス

住宅ローン等の借入がある人（全体の4割弱）のうち、「資産の値下がり激しく、バランスが崩れて不安を抱えている」との回答は、およそ3人に1人（全体では12%）となっており、特に大都市部ほど資産・負債のバランス面で不安を抱えている人が多い。

5．日本経済の成長力に対する中長期的評価

(1)日本経済の成長力に対する中長期的評価

日本経済の成長力に対する評価は、前回の調査と同様、「長い目で見ればあまり成長は期待できない」との回答が半数を上回っている。成長が期待できない理由としては、引き続き「高齢化・少子化」、「財政問題の深刻化」等を挙げる人が多い。

(2)高齢化、少子化

今後、高齢・少子化社会への対策として特に充実や改善が必要だと思ふものについては、「公的年金制度」を挙げる人が多く、老後生活のまかない方についても、「年金など公的制度によって」と考える人が「自助努力によって」と考える人を上回り、半数近くを占めている。

6．金融機関破綻の受け止め方

最近における金融機関の経営破綻に際し、引き続き7割超の人が、自分の仕事・収入や貯蓄への影響を不安に感じている。また、金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、3人中2人が「貯蓄や消費に対する意識や行動が変化した」と回答しているが、その中では、「金融機関に関する情報に気を付けるようになった」との回答が全体の5割弱と最も多い。

以 上

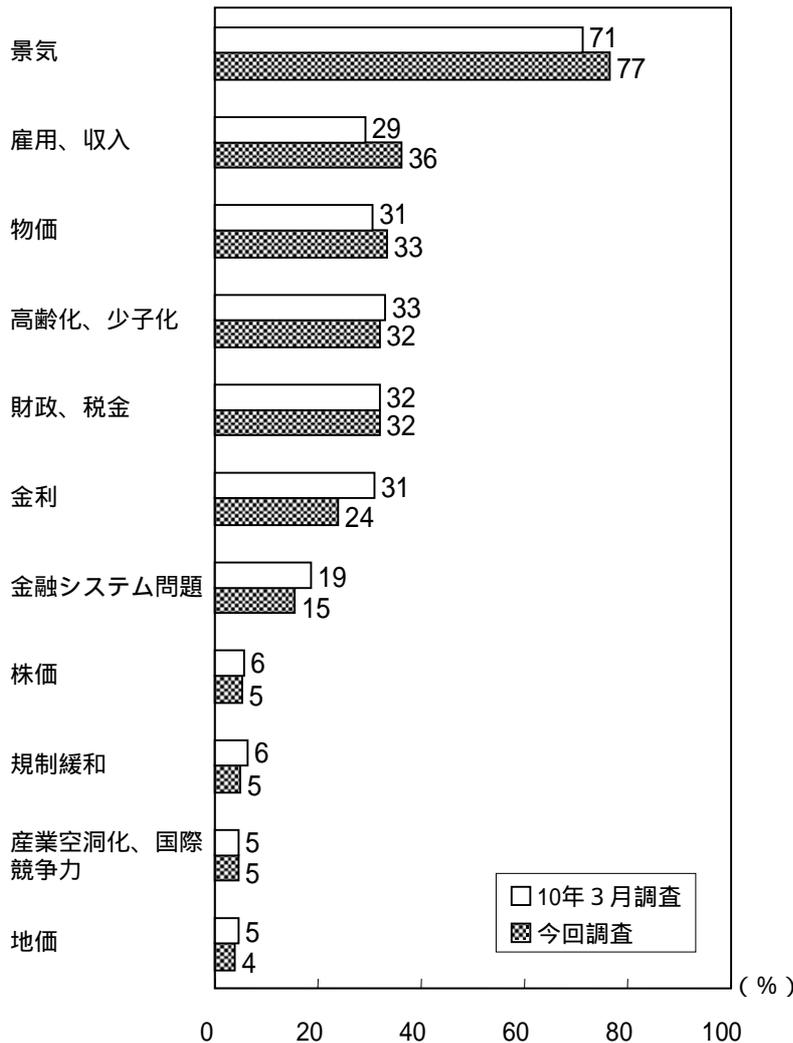
(個別結果)

構成比は小数第1位四捨五入。このため、図表での構成比の合計が100にならないことがある。

現在関心を持っている経済問題

引き続き「景気」に対する関心が最も高い。前回の調査(10年3月)に比べると、「雇用、収入」,「景気」に対する関心が高まっている一方、「金融システム問題」,「金利」に対する関心は低下している。

(図表) 現在関心を持っている経済問題(3つまでの複数回答)

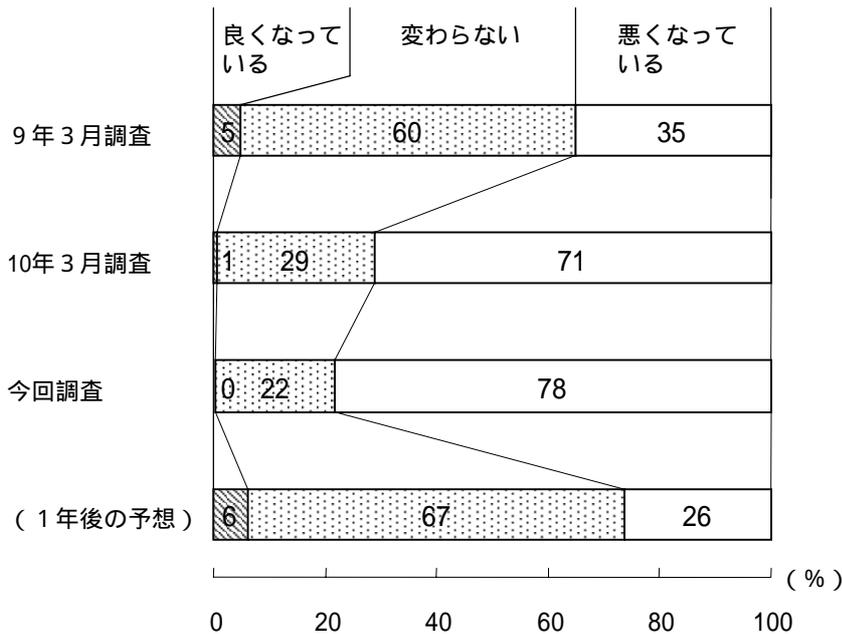


	9年3月調査	10年3月調査	今回調査
第1位	景気	景気	景気
第2位	物価	高齢化、少子化	雇用、収入
第3位	財政、税金	財政、税金	物価
第4位	高齢化、少子化	金利	高齢化、少子化
第5位	金利	物価	財政、税金
第6位	雇用、収入	雇用、収入	金利

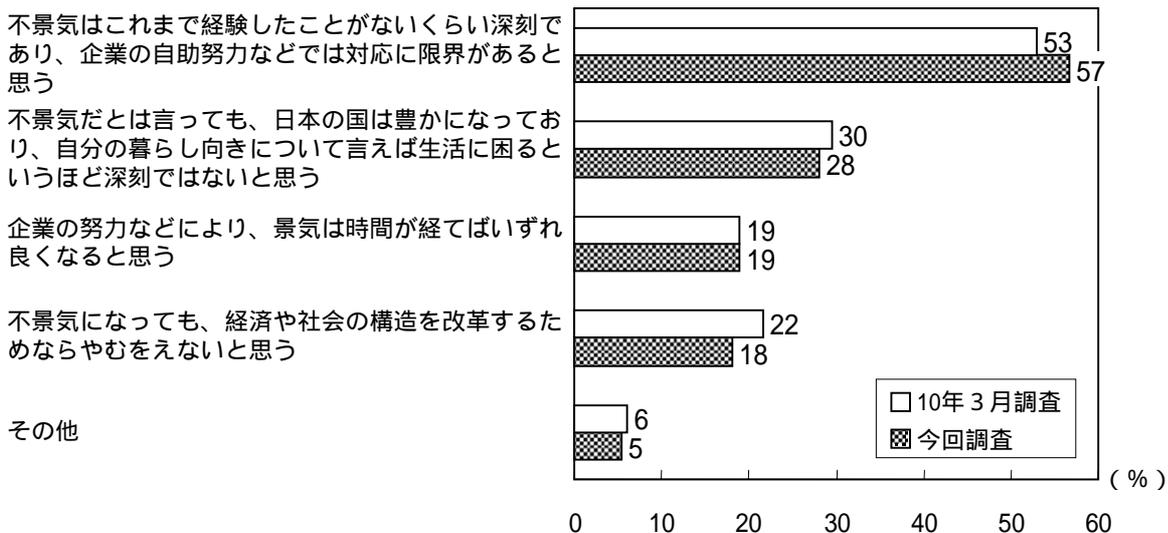
景況感

足許の景気については、前回の調査に比べ、「悪くなっている」と感じる人が増加した。先行きは「現在と変わらない」と予想する人が多い。景気を判断する方法としては、「なんとなく漠然と」が減少する一方、引き続き「マスコミを通じて」が高止まっているほか、「勤め先や自分の店の経営状況から」、「自分や家族の収入の状況から」といった、回答者の雇用・事業・収入に直結するものがウェイトを高めている。

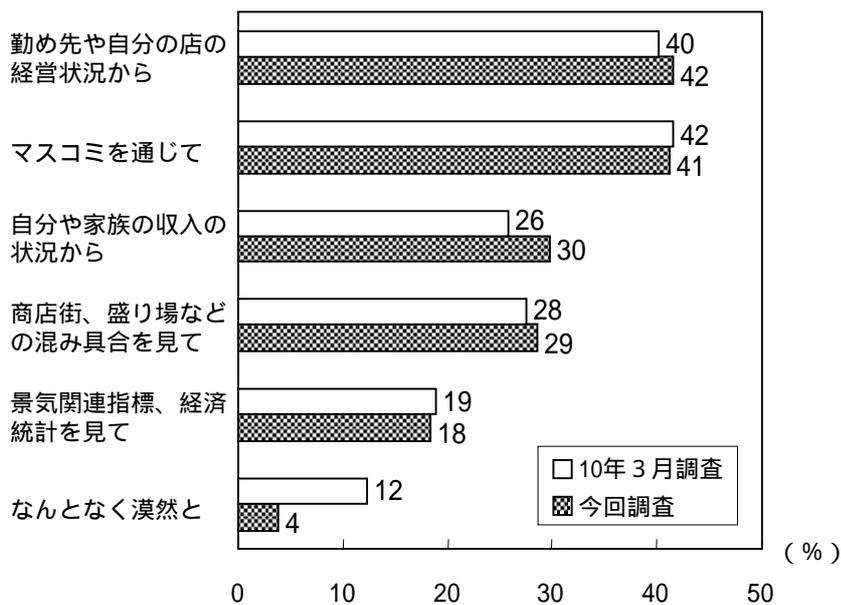
(図表) 景況感



(図表) 景気が「悪くなっている」と回答した人の受け止め方(複数回答)



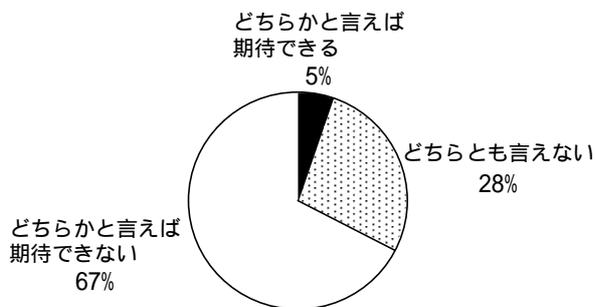
(図表) 景気判断の方法 (2つまでの複数回答)



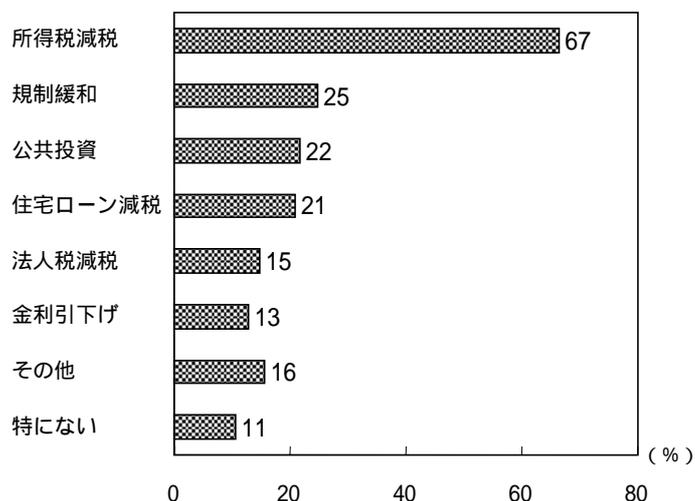
最近の景気対策の受け止め方

政府の景気対策に対しては、「どちらかと言えば期待できない」との回答が全体の3分の2となっている。

(図表) 最近の景気対策の受け止め方



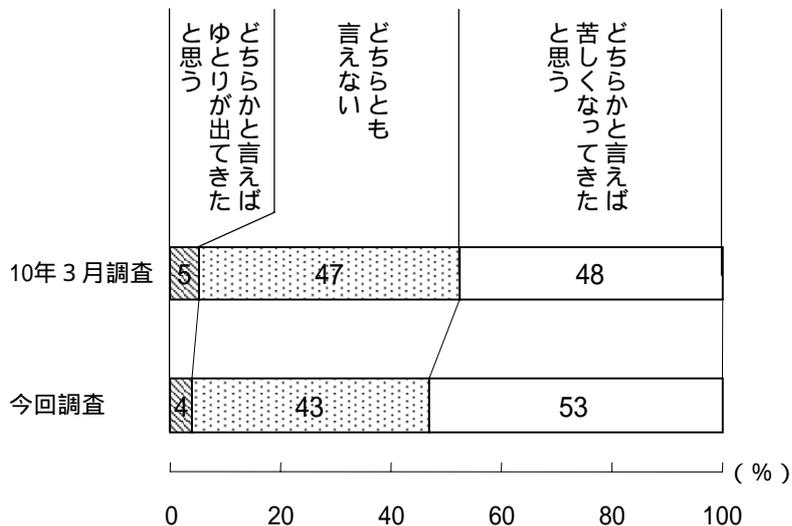
(図表) 有効だと考える景気対策 (複数回答)



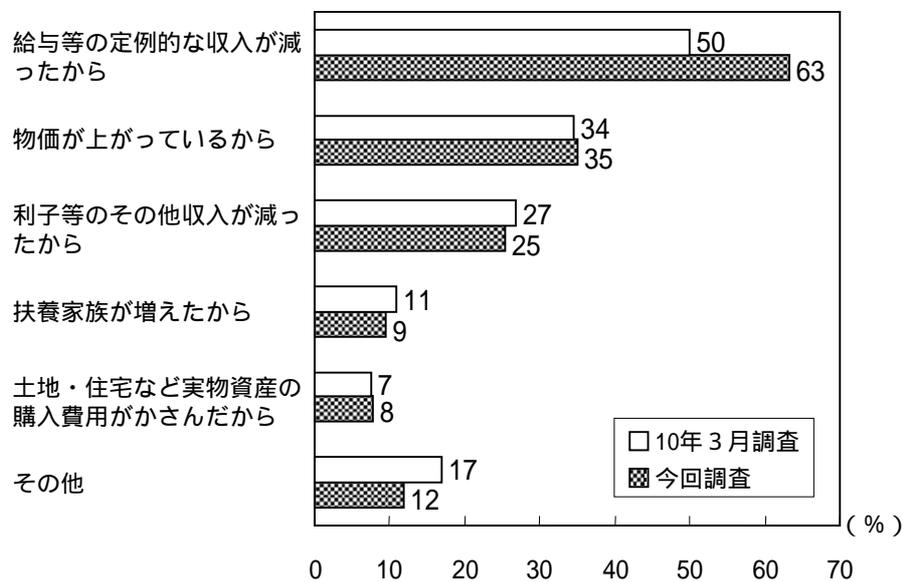
現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては、給与等の定例収入の減少などを背景として、「1年前と比べて苦しくなってきた」との回答が増加している。

(図表) 現在の暮らし向き



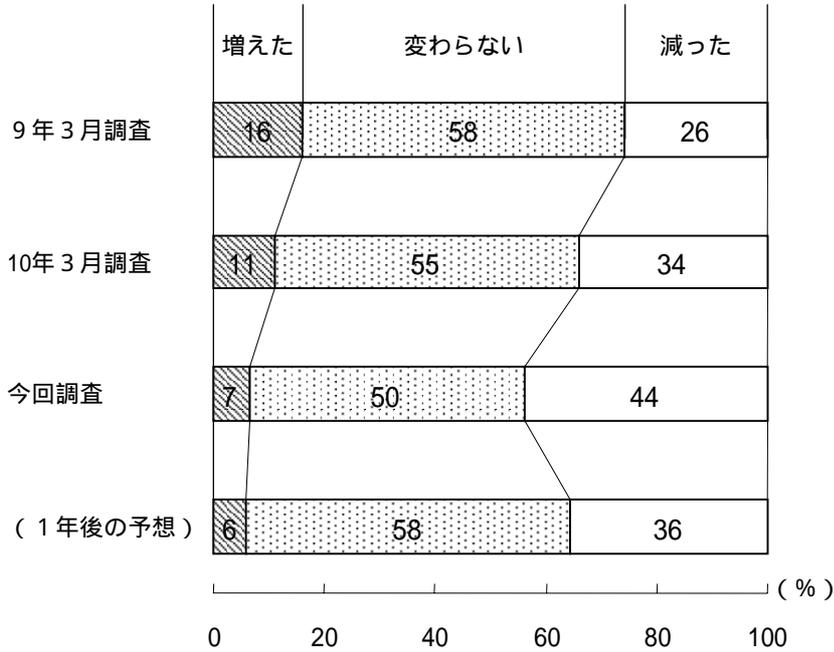
(図表) 暮らし向きが苦しくなった理由 (複数回答)



収入

収入が「減った」との回答が増加、「増えた」とする人は1割を切っている。

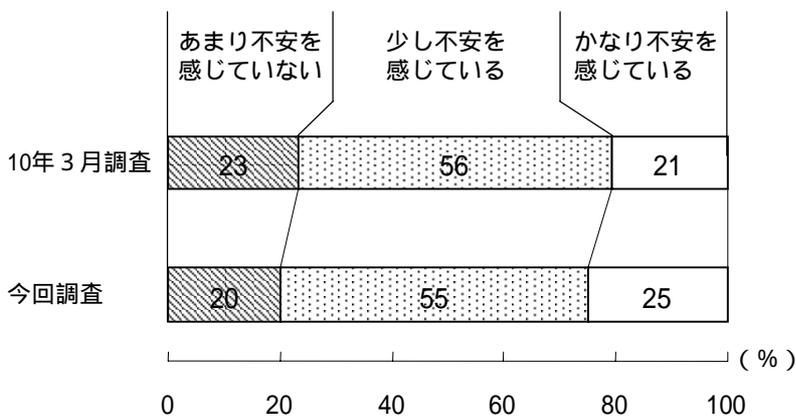
(図表) 収入



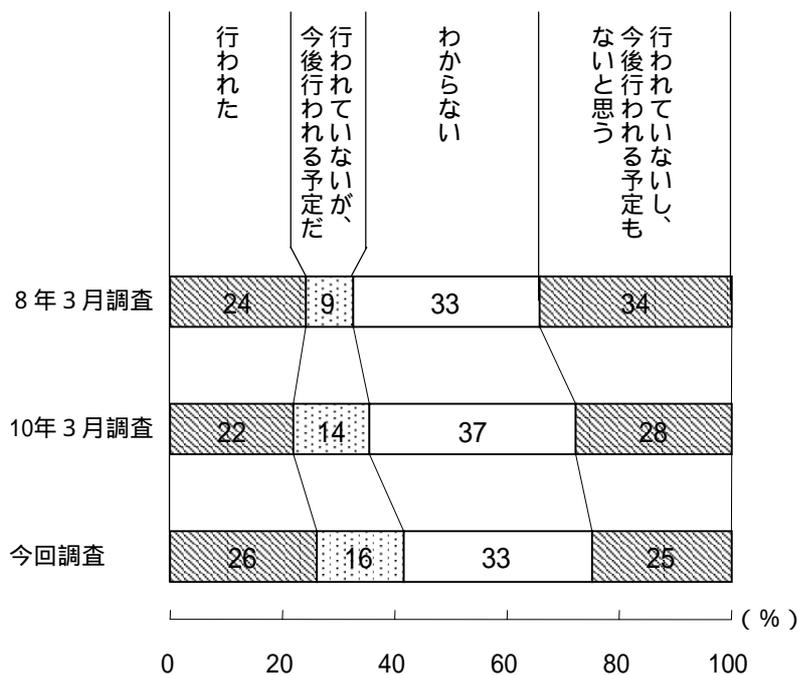
雇用環境

雇用や事業について「不安を感じている」と回答した人は8割に達しており、うち「かなり不安を感じている」と回答した人は全体の4分の1まで増加。この間、職場での合理化・リストラについては、「行われた」ないし「今後行われる予定だ」と回答した人が4割を超え、さらに、そのうちの約半数が「給与カットや賃金制度の見直し」に直面しているなど、収入・雇用面での厳しさが窺われる。

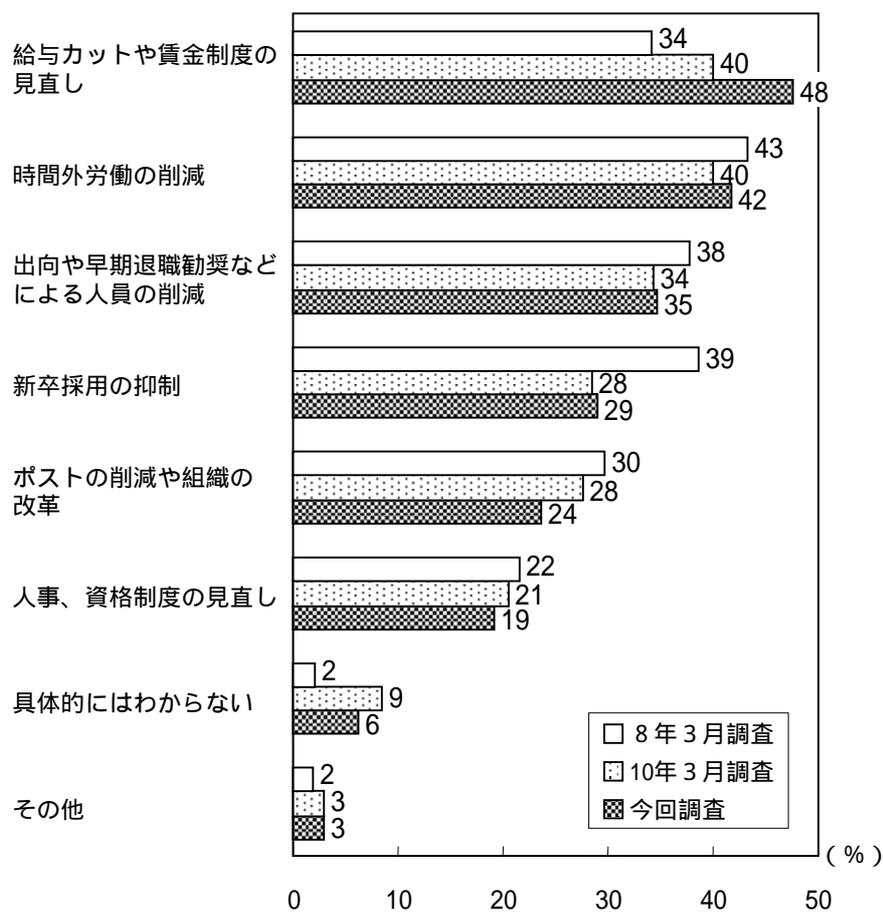
(図表) 雇用や事業についての不安



(図表) リストラの実施状況



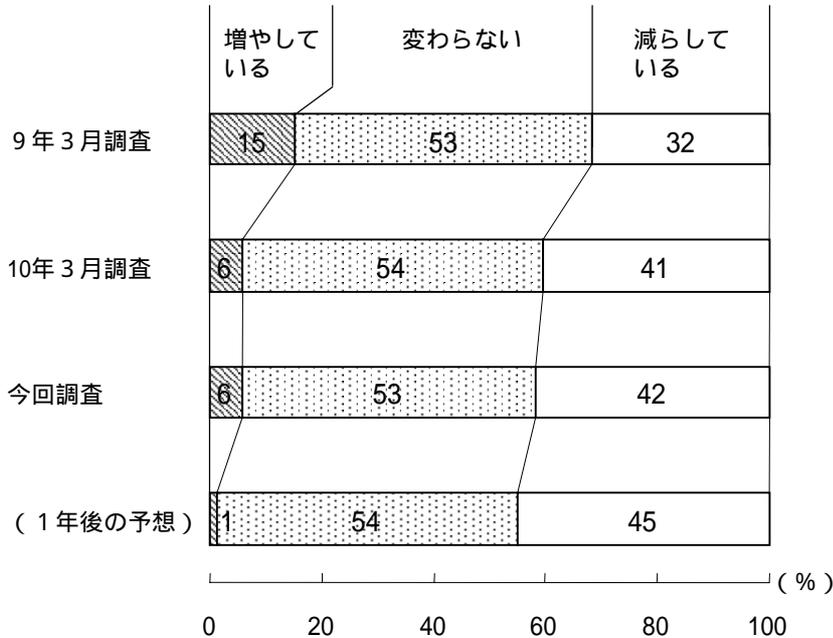
(図表) リストラの具体的な内容 (複数回答)



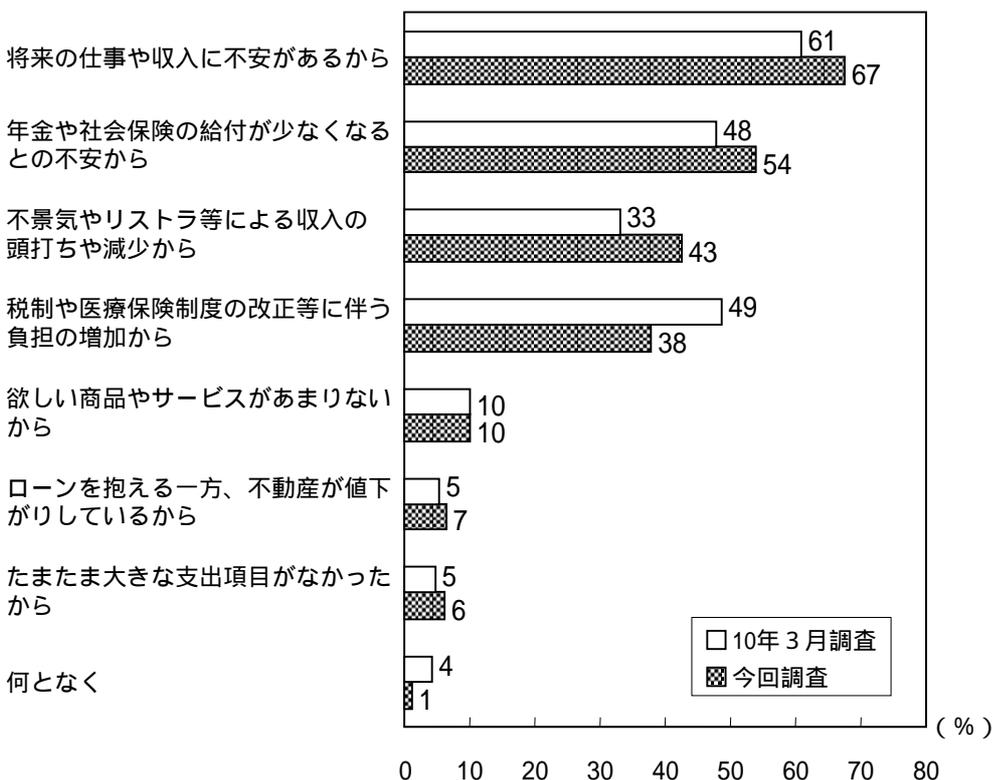
支出

支出については、「1年前と比べて減らしている」との回答が4割強。支出を減らしている理由としては、「将来の仕事や収入に不安があるから」、「年金や社会保険の給付が少なくなるとの不安があるから」に加え、「不景気やリストラ等による収入の頭打ちや減少から」の増加が目立つ。

(図表) 支出



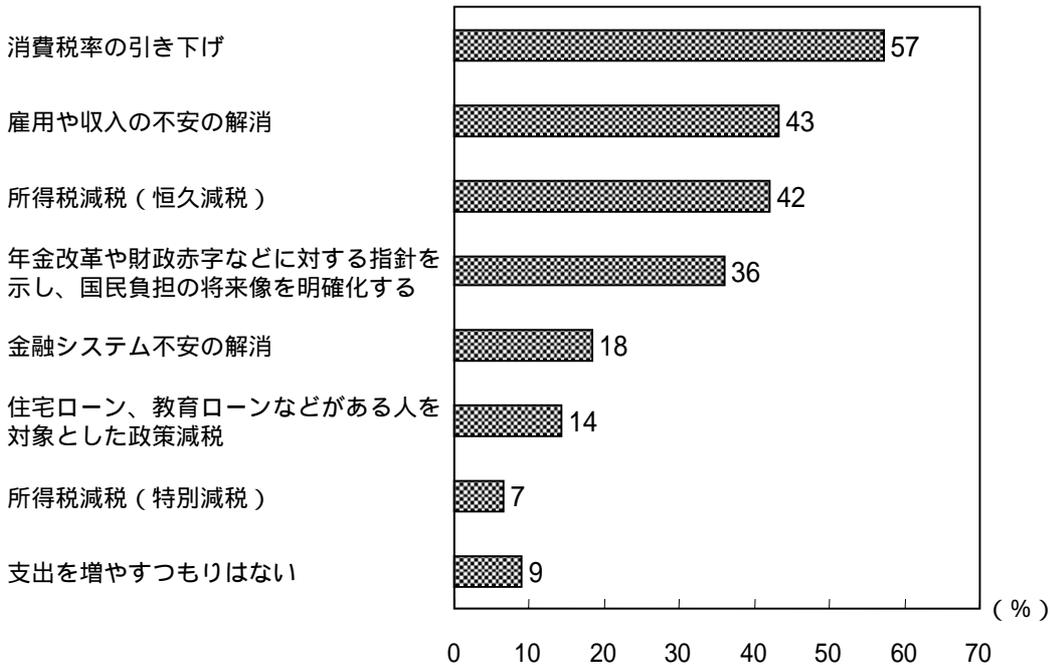
(図表) 支出を減らしている理由 (複数回答)



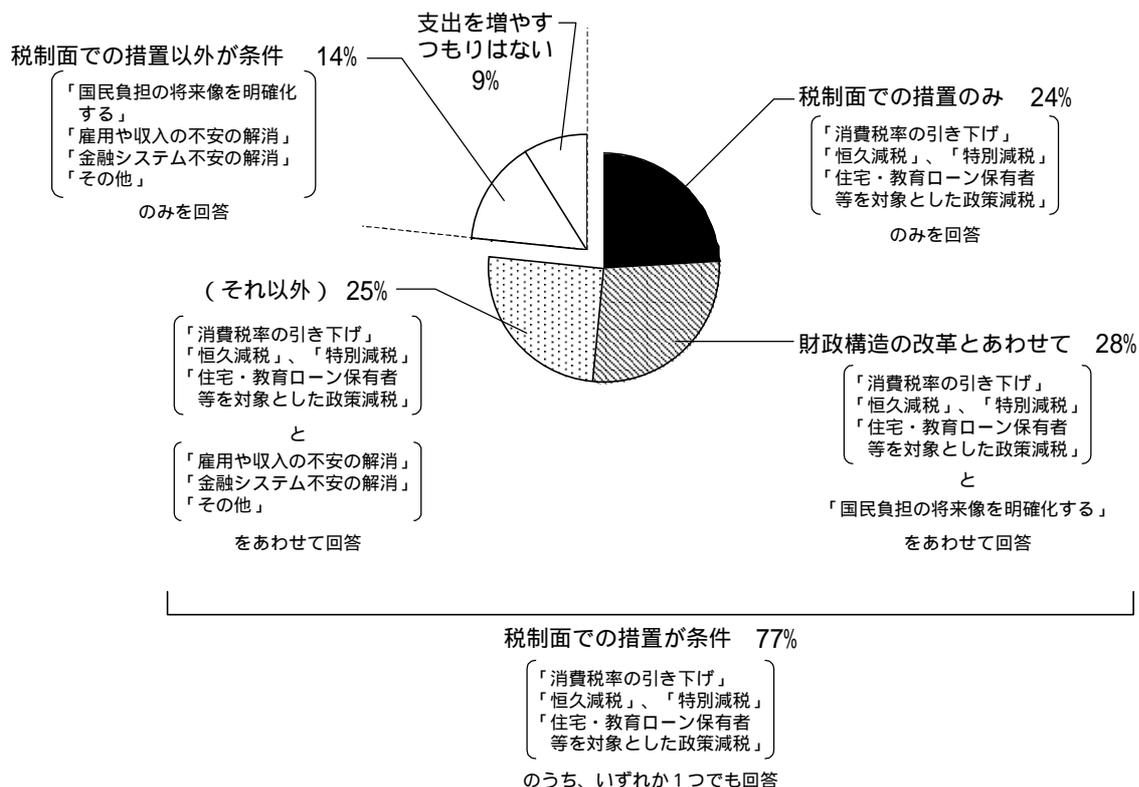
支出を増やすための条件

支出を増やすための条件としては、「消費税率の引き下げ」との回答が最も多く、他の減税策も含めて税制面での措置を条件とする人は全体の8割弱。このうち、税制面での措置とあわせて「年金改革や財政赤字に対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する」ことが必要と考える人は全体の28%と、税制面での措置のみを挙げる人（全体の24%）を上回った。

（図表）支出を増やすための条件（複数回答）



< 回答の構成 >

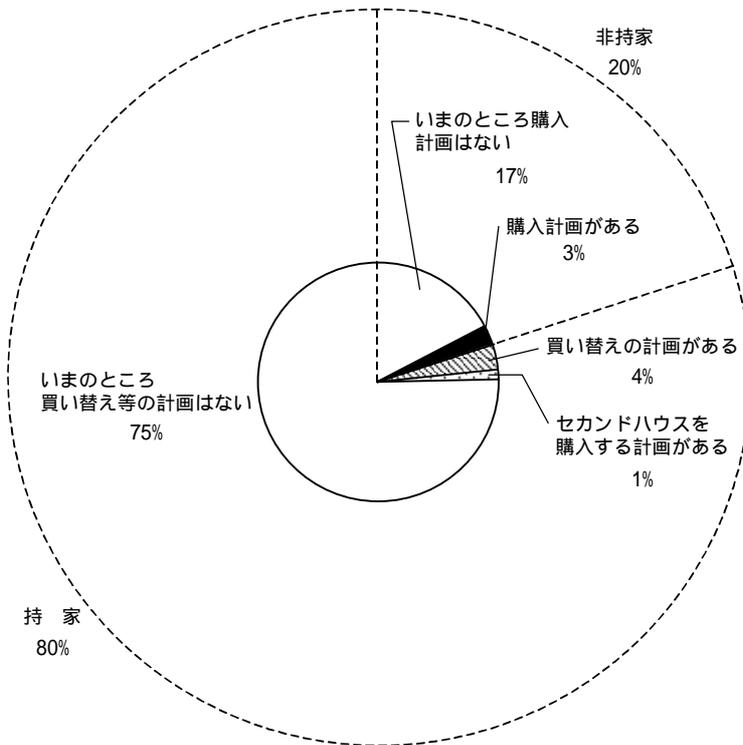


住宅購入

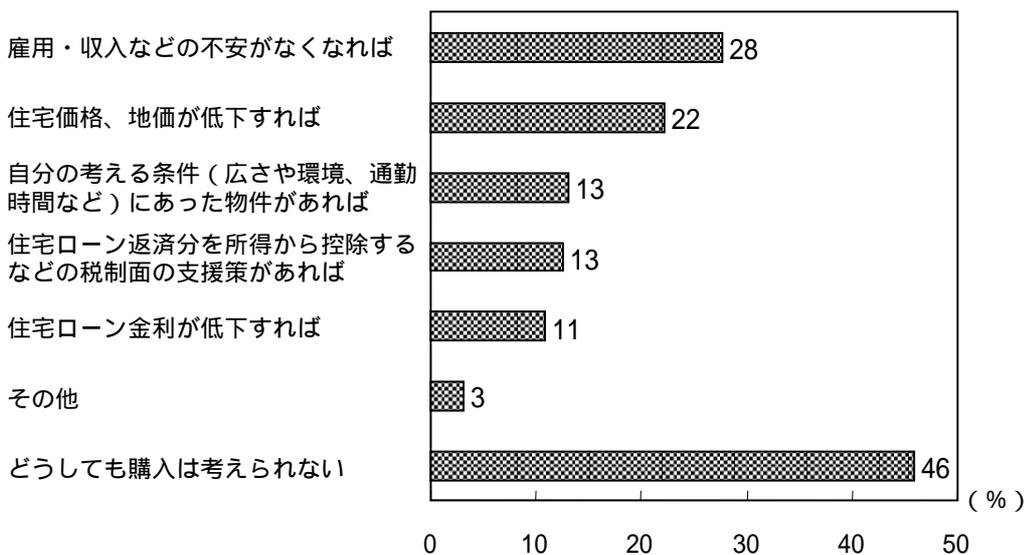
現在、マイホームの購入や買い替えを計画している人は、全体の8%。

非持家層がマイホームを購入するための条件としては、「雇用・収入の不安がなくなれば」との回答が最も多くなっている。

(図表) マイホーム購入・買い替えの計画



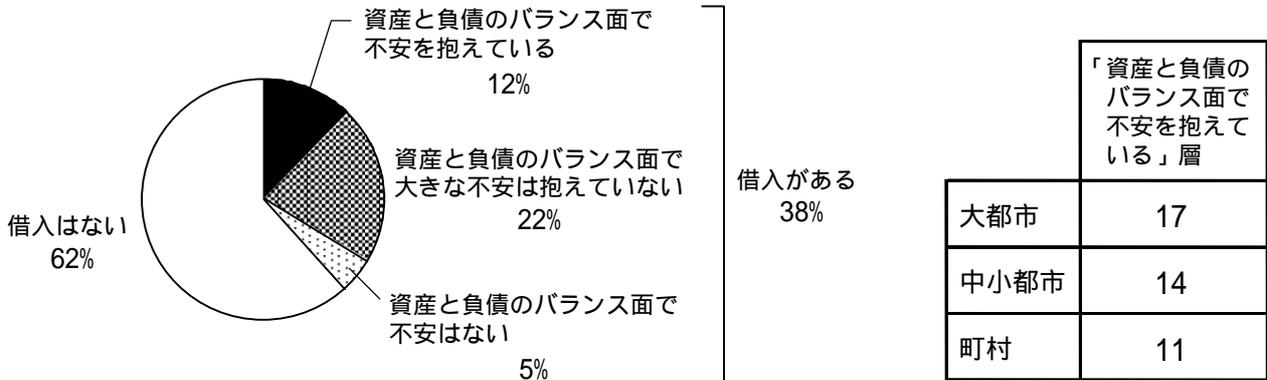
(図表) 購入をするための条件 (複数回答)



借入、家計の資産・負債バランス

住宅ローン等の借入がある人のうち、「資産の値下がり激しく、バランスが崩れて不安を抱えている」との回答は、およそ3人に1人（全体では12%）となっている。

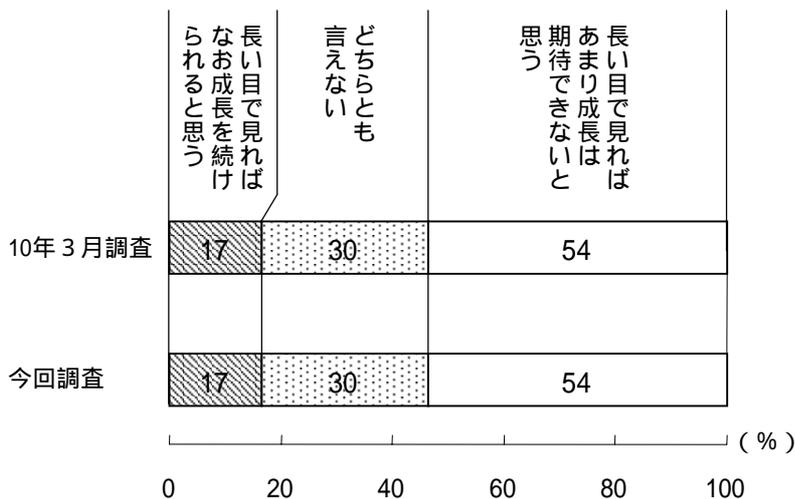
（図表）借入、家計の資産・負債バランスについての不安



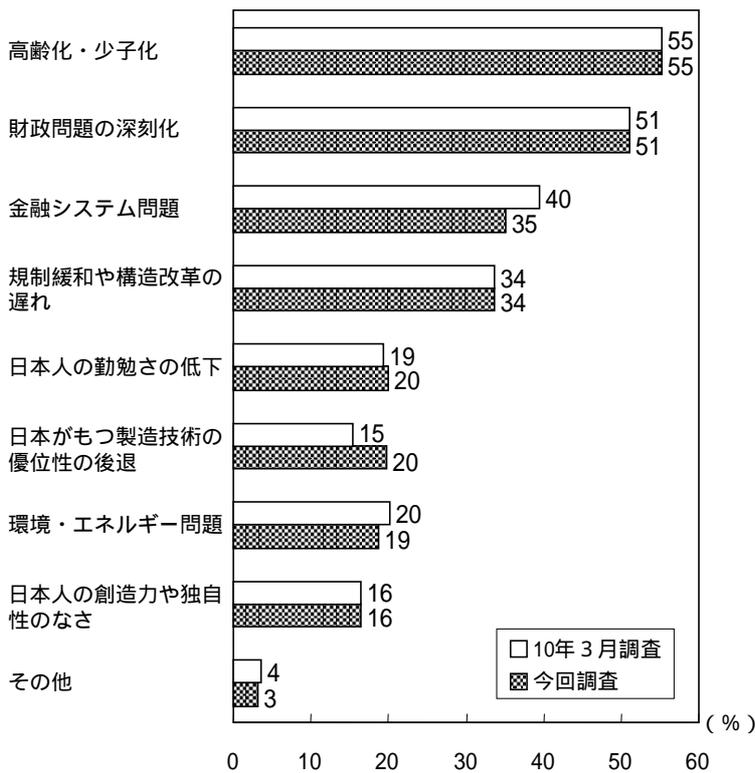
日本経済の成長力に対する中長期的評価

日本経済の成長力に対する評価は、前回の調査と同様、「長い目で見ればあまり成長は期待できない」との回答が半数を上回っている。成長が期待できない理由としては、「高齢化・少子化」、「財政問題の深刻化」等を挙げる人が多い。

（図表）日本経済の成長力に対する評価



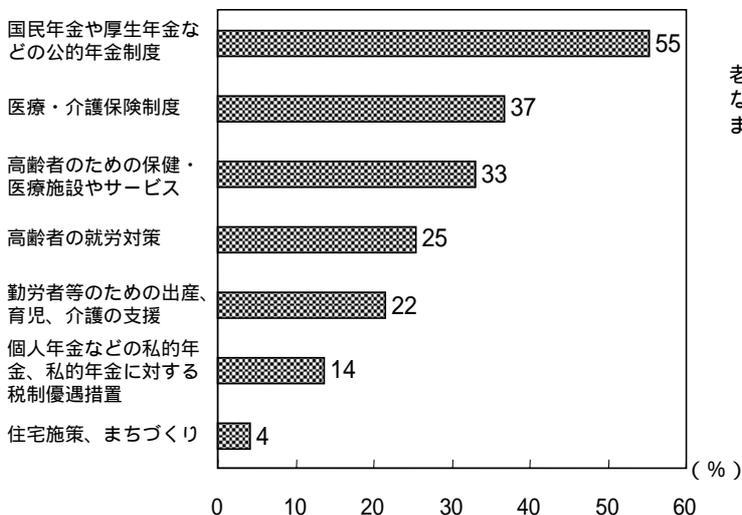
(図表)「あまり成長は期待できない」と考える人の理由(3つまでの複数回答)



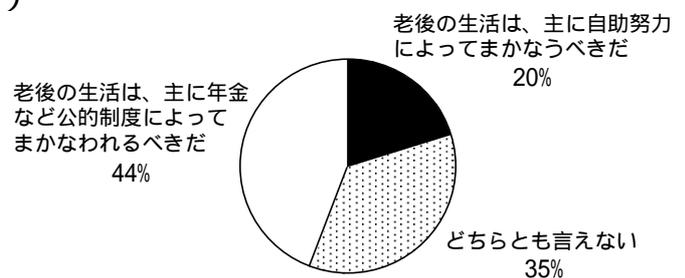
高齢化、少子化

今後、高齢・少子化社会への対策として特に充実や改善が必要だと思うものについては、「公的年金制度」を挙げる人が最も多く、老後生活のまかない方についても、「年金など公的制度によって」と考える人が、「自助努力によって」と考える人を上回り、半数近くを占めるに至っている。

(図表) 今後充実や改善が必要だと考える
高齢・少子化対策(2つまでの複数回答)



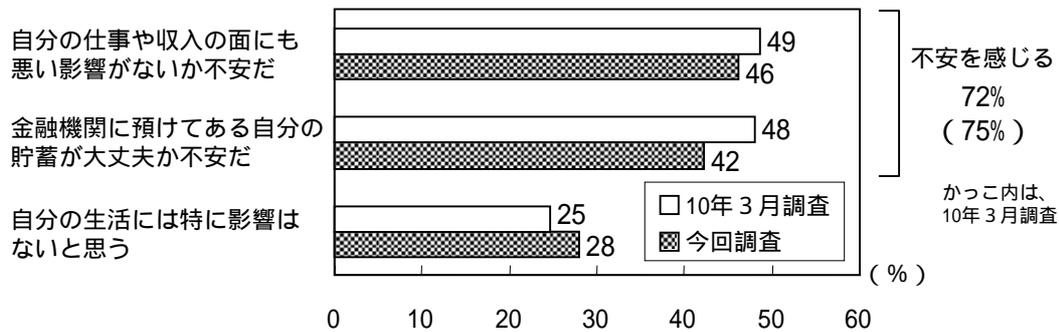
(図表) 老後生活のまかない方



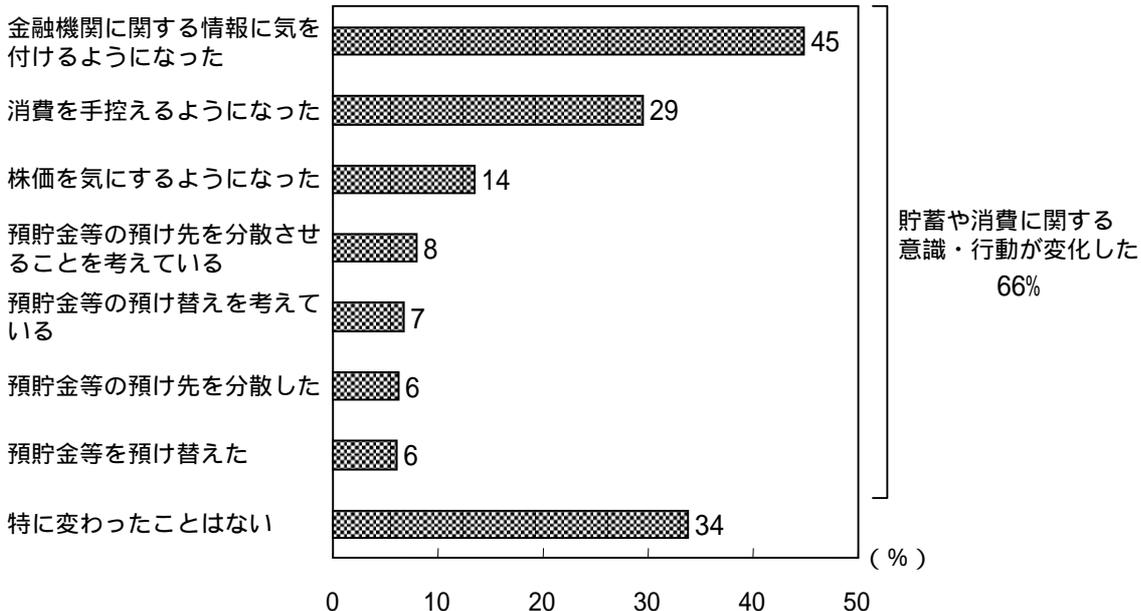
金融機関破綻の受け止め方

最近における金融機関の経営破綻に際し、引き続き7割超の人が自分の仕事・収入や貯蓄への影響を不安に感じている。また、金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、3人中2人が「貯蓄や消費に対する意識や行動が変化した」としているが、なかでは、「金融機関に関する情報に気を付けるようになった」との回答が全体の5割弱と最も多くなっている。

(図表) 最近の金融機関の経営破綻に関する受け止め方(2つまでの複数回答)



(図表) 金融不安・金融機関破綻報道による行動や意識の変化(複数回答)



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査

(注) 太文字の数値は回答比率 % (小数第2位を四捨五入したことや、一部設問で無回答者を掲記していないため、単数回答項目について、その構成比は必ずしも100にならない)。

問1 . 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(は3つまで)

1 景気	76.6	7 金融システム問題	15.4
2 雇用、収入	36.3	8 財政、税金	31.7
3 物価	33.4	9 高齢化、少子化	31.9
4 地価	4.0	10 規制緩和	4.8
5 株価	5.2	11 産業空洞化、国際競争力	4.5
6 金利	23.7	12 その他(具体的に)	0.7

問2 . 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(は1つ)

1	2	3
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う
0.3	21.6	78.1

問3 . そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(は2つまで)

1 マスコミを通じて	41.1	5 商店街、盛り場などの混み具合	28.6
2 景気関連指標、経済統計を見て	18.4	を見て	
3 勤め先や自分の店の経営状況	41.5	6 なんとなく漠然と	3.8
から		7 その他(具体的に)	2.1
4 自分や家族の収入の状況から	29.8		

(問2 . で「3 悪くなっていると思う」とお答えになった方にお聞きします)

問4 . 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(はいくつでも)

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	18.9
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	18.1
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて言えば生活に困るといほど深刻ではないと思う	28.1
4 不景気はこれまで経験したことのないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う	56.6
5 その他(具体的に)	5.4

(全員にお聞きします)

問5 . 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

1 良くなっていると思う 6.3	2 変わらないと思う 67.2	3 悪くなっていると思う 26.4
------------------------	-----------------------	-------------------------

問6 . このところ様々な景気対策が打ち出されていますが、その効果についてどう思いますか。

(は1つ)

1 どちらかと言えば 期待できる 5.3	2 どちらかと言えば 期待できない 67.1	3 どちらとも言えない 27.5
-------------------------------	---------------------------------	------------------------

問7 . 景気対策として、どれが有効だと思いますか。(はいくつでも)

1 所得税減税	66.5	5 公共投資	21.6
2 住宅ローン減税	20.7	6 金利引下げ	12.7
3 法人税減税	14.6	7 その他(具体的に)	15.5
4 規制緩和	24.7	8 特にない	10.6

問8 . 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(は2つまで)

1 企業の活動が活発になり、景気がよくなることを期待している	38.3
2 現在の金利水準でも、景気がよくなることは期待できない	43.4
3 預金などから受け取る利子が少なくなっているのがつらい	52.1
4 受け取る利子は少なくなっている一方で、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない	5.5
5 住宅ローンなどの借入れをしようと考えている(あるいは、既にしている)ので金利負担が少なく、助かる	8.1
6 その他(具体的に)	1.9

問9 . 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうなりましたか。(は1つ)

1 増えた 6.6	2 変わらない 49.7	3 減った 43.6
-----------------	--------------------	------------------

問10．1年後のあなた（またはご家族）の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。（ は1つ）

1 増えると思う 5.8	2 変わらないと思う 58.4	3 減ると思う 35.6
--------------------	-----------------------	--------------------

問11．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）

1 減らしている 41.7 ↓	2 変わらない 52.5 ↓ (問12へ)	3 増やしている 5.7 ↓
--------------------------	-----------------------------------	-------------------------

（前問で 1 と答えた方にお聞きします）

問11-1a．支出を減らしているのはなぜですか。

（ はいくつでも）

1	不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから	42.6
2	将来の仕事や収入に不安があるから	67.4
3	税制改正や医療保険制度の改正等に伴い家計の負担が増加したから	37.8
4	今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から	54.0
5	住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから	6.5
6	欲しい商品やサービスがあまりないから	10.0
7	たまたま大きな支出項目がなかったから	6.2
8	なんとなく	1.0

（前問で 3 と答えた方にお聞きします）

問11-1b．支出を増やしているのはなぜですか。

（ はいくつでも）

1	収入が増えているから	11.0
2	将来、収入が増えると見込まれるから	2.2
3	減税等に伴い、家計の負担が減少したから	4.9
4	今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから	6.6
5	購入した家などの不動産が値上がりしたから	1.1
6	欲しい商品やサービスがあるから	18.7
7	たまたま大きな支出項目があったから	65.9
8	なんとなく	6.0

（全員にお聞きします）

問12．今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。（ は1つ）

1 減らそうと思う 44.8	2 現状を維持しようと思う 53.9	3 増やそうと思う 1.2
----------------------	--------------------------	---------------------

問13. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(は2つまで)

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う | 51.8 |
| 2 | 現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う | 53.4 |
| 3 | 住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって支出は変わると思う | 3.9 |
| 4 | 税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う | 39.8 |
| 5 | 買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う | 14.1 |
| 6 | 似たような新商品が次々に登場したり、短時間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う | 5.4 |

問14. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいいくつでも)

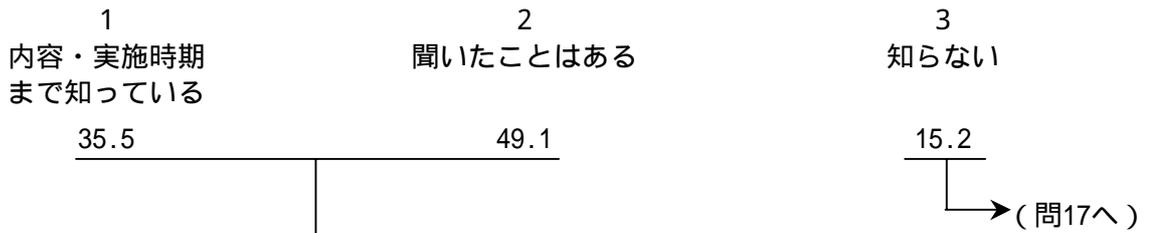
- | | | |
|---|-------------------------------------|------|
| 1 | 所得税減税(恒久減税:期限を設けず継続的に行う減税) | 42.1 |
| 2 | 所得税減税(特別減税:期限を設けて一時的に行う減税) | 6.5 |
| 3 | 消費税率の引下げ | 57.3 |
| 4 | 住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税 | 14.2 |
| 5 | 雇用や収入の不安の解消 | 43.2 |
| 6 | 金融システム不安の解消 | 18.3 |
| 7 | 年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する | 36.0 |
| 8 | その他(具体的に) | 1.4 |
| 9 | 支出を増やすつもりはない | 9.0 |

問15. あなたは減税などによって使える収入が増えた場合、それをどのように使いたいと思いますか。

(は1つ)

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | ほとんどを貯蓄に回すと思う | 23.2 |
| 2 | 一部を貯蓄に回すとともに、残りで欲しいものを買ったり、旅行やレジャーに使うと思う | 57.6 |
| 3 | ほとんどを欲しいものを買ったり、旅行やレジャーに使い、貯蓄には回さないと思う | 13.7 |
| 4 | その他(具体的に) | 4.9 |

問16. 今年、減税（特別減税）が実施されましたが、あなたはご存知でしたか。（ は1つ）



（前問で 1 または 2 と答えた方にお聞きします）

問16-1. その減税分はどのように使いましたか。（ はいくつでも）

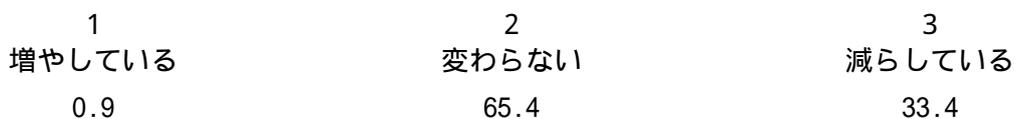
1	生活費	51.5
2	耐久財購入	1.8
3	衣服等ファッション支出	5.7
4	レジャー（旅行など）支出	7.5
5	飲食費（外食）	8.4
6	住宅購入	0.6
7	貯蓄・借金返済	13.8
8	その他（具体的に ）	2.4
9	特に意識しなかった	34.2

（全員にお聞きします）

問17. あなたは以下の商品について、近いうちに購入したいとお考えですか。（それぞれ は1つ）

	〔1〕 近いうちに新規購入 ないし買い換えたい と思っている	〔2〕 新規購入ないし買い 換えたいと思ってい るが、収入面に不安が あるので先送りして いる	〔3〕 新規購入ないし買い 換えの希望はない
(1) 自動車	8.4	25.3	66.0
(2) テレビ・ビデオ等 の家電製品	11.5	24.9	63.3
(3) 家具等住宅関連 商品	5.7	19.3	74.7

問18. この1年で、お中元・お歳暮などの贈答品への支出額はどうなりましたか。（ は1つ）



問19. 物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど前年と変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている
1.2	12.6	38.4	36.5	11.3

問20. あなたは、前問で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

(は3つまで)

1 食料品の値段	79.7	6 住宅の建設・修繕費や家賃	11.6
2 日用品の値段	47.3	7 旅行やレジャーの値段	10.5
3 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	17.7	8 病院の診察費や薬の値段	33.5
4 交通機関の運賃	16.6	9 学校や教育サービスの値段	5.6
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	24.5	10 その他(具体的に)	1.0

問21. 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がる	少し下がる	ほとんど今年と変わらない	少し上がる	かなり上がる
0.7	9.8	62.8	23.3	3.2

↓ (問22へ)

(前問で 1、2、4、5 のいずれかを答えた方にお聞きします)

問21-1. そうお考えになる理由は、次のうちどれですか。

(はいくつでも)

1 景気の良し悪しにより、ものの売れ行きが変わるから	66.1
2 収入や雇用の環境が変わるから	36.2
3 消費者の価格指向(低価格品指向や高級品指向など)が変わるから	21.0
4 賃金や地価など企業側のコストが増減するから	21.8
5 企業の努力、技術進歩が見込まれるから	7.0
6 消費税などの税負担が変わると思うから	28.1
7 規制の緩和・撤廃が見込まれるから	6.8
8 海外製品・サービスとの競合が見込まれるから	12.4
9 外国為替相場が変動するから	10.1
10 何となく	5.8
11 その他(具体的に)	3.4

(全員にお聞きします)

問22. あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。(は1つ)

1
どちらかと言えば
ゆとりが出てきたと思う

3.8



2
どちらかと言えば
苦しくなってきたと思う

53.2



3
どちらとも言えない

43.0



(前問で 1 と答えた方にお聞きします)

問22-1a. その理由は次のうちどれですか。

(はいくつでも)

- | | | |
|---|--------------------------|------|
| 1 | 給与等の定期的な収入が増えたから | 60.3 |
| 2 | 利子等のその他収入が増えたから | 4.1 |
| 3 | 土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから | 1.7 |
| 4 | 物価が下がっている、あるいは、安定しているから | 18.2 |
| 5 | 扶養家族が減ったから | 26.4 |
| 6 | その他(具体的に) | 11.6 |

(前問で 2 と答えた方にお聞きします)

問22-1b. その理由は次のうちどれですか。

(はいくつでも)

- | | | |
|---|------------------------|------|
| 1 | 給与等の定期的な収入が減ったから | 63.2 |
| 2 | 利子等のその他収入が減ったから | 25.4 |
| 3 | 土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから | 7.7 |
| 4 | 物価が上がっているから | 35.1 |
| 5 | 扶養家族が増えたから | 9.4 |
| 6 | その他(具体的に) | 11.8 |

(全員にお聞きします)

問23. あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(は1つ)

1
一時的な振れはあっても、
長い目で見れば、なお成長
を続けられると思う

16.3



2
長い目で見ればあまり成長
は期待できないと思う

53.3



3
どちらともいえない

30.3



(前問で 1 と答えた方にお聞きします)

問23-1a. その理由は次のうちどれですか。

(は2つまで)

- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | 日本がもつ製造技術の優位性 | 70.1 |
| 2 | 日本人の創造力や独自性 | 19.0 |
| 3 | 日本人の勤勉さ | 37.0 |
| 4 | 規制緩和や構造改革の進展 | 23.6 |
| 5 | 女性や高齢者の労働力化の進展 | 12.3 |
| 6 | コンピューターなど情報化の進展 | 20.3 |
| 7 | その他(具体的に) | 1.1 |

(前問で 2 と答えた方にお聞きします)

問23-1b. その理由は次のうちどれですか。

(は3つまで)

- | | | |
|---|------------------|------|
| 1 | 日本がもつ製造技術の優位性の後退 | 19.7 |
| 2 | 日本人の創造力や独自性のなさ | 16.3 |
| 3 | 日本人の勤勉さの低下 | 19.9 |
| 4 | 規制緩和や構造改革の遅れ | 33.7 |
| 5 | 高齢化・少子化 | 55.3 |
| 6 | 環境・エネルギー問題 | 18.6 |
| 7 | 金融システム問題 | 35.0 |
| 8 | 財政問題の深刻化 | 51.1 |
| 9 | その他(具体的に) | 3.2 |

(全員にお聞きします)

問24. あなた(またはご家族)の雇用や事業について不安を感じていますか。(は1つ)

1	2	3
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている
19.9	55.1	24.8

問25. あなた(またはご家族)のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。(は1つ)

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、 今後行われる予定である	行われていないし、今後 行われる予定もないと思う	わからない
26.0	15.6	24.9	33.2

↓

(問26へ)

(前問で 1 あるいは 2 と答えた方にお聞きします)

問25-1. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。(はいいくつでも)

1	時間外労働の削減	41.8
2	給与カットや賃金制度の見直し	47.5
3	新卒採用の抑制	29.0
4	出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	34.7
5	ポストの削減や組織の改革	23.7
6	人事、資格制度の見直し	19.2
7	その他(具体的に)	3.2
8	予定されているが、具体的にはわからない	6.2

(全員にお聞きします)

問26. 住宅(マイホーム)に関して、あなたはどのようにお考えですか。すでにマイホームをお持ちの方も、ご自身の考え方をお答えください。(は1つ)

1	やはり自分の家、土地を持ちたいと思う	69.8
2	持ち家にこだわらないので、賃貸住宅に住み続けてよいと思う	6.6
3	親と同居している(今後する予定である)ので、自分で家を持つことを特に意識していない	12.2
4	いずれとも言えない	11.3

問27. マイホームなどの購入を具体的に計画していますか。(は1つ)

- | | | |
|---|---------------------|------|
| 1 | いまのところ購入・買い替えの計画はない | 92.3 |
| 2 | はじめてマイホームを購入する計画がある | 2.6 |
| 3 | 買い替えの計画がある | 3.6 |
| 4 | セカンドハウスを購入する計画がある | 1.2 |

→(前問で 1 と答えた方にお聞きします)

問27-1. それはなぜですか。(はいいくつでも)

- | | | |
|---|------------------------------------|------|
| 1 | すでに自宅を保有しているから | 74.4 |
| 2 | 依然として住宅価格、地価が購入可能な水準にはないから | 8.9 |
| 3 | 住宅価格、地価はまだ下がると思うから | 2.6 |
| 4 | 自分の考える条件(広さや環境、通勤時間など)に合致する物件がないから | 3.8 |
| 5 | 賃貸住宅・社宅などで満足しているから | 5.9 |
| 6 | 雇用・収入などに不安があるから | 21.7 |
| 7 | その他(具体的に) | 4.2 |

問27-2. どのような条件が満たされれば購入・買い替えをしてもよいと思いますか。(はいいくつでも)

- | | | |
|---|----------------------------------|------|
| 1 | 住宅価格、地価が低下すれば | 22.2 |
| 2 | 住宅ローン金利が低下すれば | 10.9 |
| 3 | 雇用・収入などの不安がなくなれば | 27.6 |
| 4 | 住宅ローン返済分を所得から控除するなど税制面の支援策があれば | 12.6 |
| 5 | 自分の考える条件(広さや環境、通勤時間など)にあった物件があれば | 13.1 |
| 6 | その他(具体的に) | 3.1 |
| 7 | どうしても購入や買い替えは考えられない | 45.9 |

(全員にお聞きします)

問28. マイホームの取得を促進するためには、どのような方法が有効だと思いますか。

(はいいくつでも)

- | | | |
|---|---------------------------------|------|
| 1 | 土地や住宅がもっと安価になること | 70.9 |
| 2 | ロケーションや広さ、設備などの面で魅力的な物件を増やすこと | 9.5 |
| 3 | 雇用や収入の不安がなくなること | 61.6 |
| 4 | 住宅ローンの金利が低くなったり、借入の限度額が大きくなること | 33.1 |
| 5 | 住宅ローンの利払いを所得から控除するなどの減税策を充実すること | 38.0 |
| 6 | その他(具体的に) | 1.5 |

問29. 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は1つ)

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う | 7.9 |
| 2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う | 33.4 |
| 3 下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う | 26.9 |
| 4 わからない | 31.4 |

問30. 今後、わが国は高齢社会化が進むと言われていますが、以下のそれぞれの項目はどうなっていくと思いますか。(はそれぞれ1つ)

	〔1〕 どちらかと言えば 現在以上に重要な 問題となる	〔2〕 どちらかと言えば 現在ほど重要な 問題ではなくなる	〔3〕 どちらとも言えない
(1) 医療	87.4	3.1	9.2
(2) 収入	71.4	7.3	21.0
(3) 雇用	72.1	8.4	19.2
(4) 住居	41.3	25.1	33.2
(5) 年金	91.4	2.0	6.3
(6) 介護	88.8	3.1	7.9
(7) 物価	51.2	17.3	31.1
(8) 税金・社会保険料 ...	81.5	4.7	13.4
(9) 老後生活	87.8	3.2	8.7

問31. 今後、高齢・少子化社会への対策として、とくに充実や改善が必要だと思うものはどれですか。
(は2つまで)

- | | |
|------------------------------|------|
| 1 国民年金や厚生年金などの公的年金制度 | 55.2 |
| 2 個人年金などの私的年金、私的年金に対する税制優遇措置 | 13.6 |
| 3 医療・介護保険制度 | 36.8 |
| 4 高齢者のための保健・医療施設やサービス | 33.0 |
| 5 高齢者の就労対策 | 25.3 |
| 6 勤労者等のための出産、育児、介護の支援 | 21.5 |
| 7 住宅施策、まちづくり | 4.2 |
| 8 その他(具体的に) | 1.1 |

問32 . 次の(1) ~ (4)の意見について、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。

(はそれぞれ1つ)

		1 どA ち に ら 近 か い と 言 え ば	2 ど ち ら と も 言 え な い	3 どB ち に ら 近 か い と 言 え ば		
		A			B	
(1)	老後の生活は、主に就労や貯蓄など自助努力によってまかなうべきだ。	20.3	35.1	44.4	老後の生活は、主に年金など国や公的制度によってまかなわれるべきだ。	
(2)	自分より若い世代の負担を増やさないために、年金・医療保険制度は縮小していくべきだ。	27.3	59.6	12.8	自分より若い世代の負担を増やしてでも、年金・医療保険制度は維持・充実すべきだ。	
(3)	老後は、消費よりも、貯蓄や不動産などの資産形成に努めたい。	16.9	52.2	30.6	老後は、貯蓄や不動産などの資産形成よりも、消費を優先したい。	
(4)	少子化は、家族・家庭に対する個々人の価値観が変化したことなどによるものなので、価値観が変わらない限り問題は解決しないだろう。	30.7	38.1	30.9	少子化は、家族・家庭を取り巻く様々な環境(住宅、教育など)が障害になっているものなので、障害が取り除かれれば問題は解決していくだろう。	

問33. あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。(は1つ)

1
あ る
38.3

2
な い
61.5
→(問34へ)

(前問で 1 と答えた方にお聞きします)

問33-1. あなたは、ここ1年の間に借入金の返済方法を変えていますか。(は1つ)

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | 低金利なので借り換えを行った | 10.3 |
| 2 | 繰上げ返済などにより返済のテンポを速めた | 6.7 |
| 3 | 返済のテンポを遅めた | 2.0 |
| 4 | 特に変えていない | 80.9 |

→(前問で 2 と答えた方にお聞きします)

問33-2. その理由は何ですか。(はいくつでも)

- | | | |
|---|------------------------------|------|
| 1 | 収入や手元資金が増えたため | 26.8 |
| 2 | 将来の収入が不安なので、今のうちに前倒しで返済したいため | 63.4 |
| 3 | 早く返すことを催促されたため | 3.7 |
| 4 | 特に理由はない | 8.5 |

(全員にお聞きします)

問34. あなたの家計全体のバランスについて、以下の中から最も近い感じのものをお選び下さい。

(は1つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 住宅ローン等の借入はほとんどなく、一方で資産(持家もしくは金融資産等)はそこそこあるので、資産と負債のバランスに関する不安はない | 57.5 |
| 2 | 住宅ローン等の借入があるものの、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりはそのほど大きくないため、資産と負債のバランス面で大きな不安は抱えていない | 25.4 |
| 3 | 住宅ローン等の借入がある一方、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりが激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている | 13.8 |

→(前問で 3 と答えた方にお聞きします)

問34-1. いつごろからそうした不安を感じるようになりましたか。

(は1つ)

- | | | |
|---|----------|------|
| 1 | 今年に入ってから | 12.0 |
| 2 | 昨年から | 22.9 |
| 3 | 2～4年前から | 51.8 |
| 4 | 5～9年前から | 8.8 |
| 5 | 10年以上前から | 3.8 |

(全員にお聞きします)

問35. あなたは金融機関経営や金融システム問題にどの程度関心がありますか。(は1つ)

1	2	3
非常に関心がある	それなりに関心がある	あまり関心がない
16.1	55.6	28.3

問36. 最近における金融機関の経営破綻から、あなたは何をお感じになりますか。(は2つまで)

1 金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫かどうか不安だ	42.2
2 自分の仕事や収入面にも悪い影響が出るのではないかと不安だ	46.2
3 自分の生活には特に影響はないと思う	27.9

問37. 最近の金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いてあなたの行動はどう変わりましたか。

(はいくつでも)

1 預貯金や株式を預け買えた	6.1
2 預貯金や株式の預け替えを考えている	6.8
3 預貯金や株式の預け先を分散した	6.2
4 預貯金や株式の預け先を分散させることを考えている	8.0
5 金融機関に関する情報に気をつけるようになった	44.9
6 消費を手控えるようになった	29.4
7 株価を気にするようになった	13.5
8 特に変わったことはない	33.8

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。

(立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。)

F 1. あなたの性別は。

1	2
男	女
50.3	49.7

F 2. あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

1	2	3	4	5	6
20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
13.9	16.3	22.3	21.3	17.2	9.0

F 3 . 結婚していらっしゃいますか。

1	2	3
既婚（配偶者あり）	既婚（配偶者と離別・死別）	未婚
77.2	7.4	15.4

F 4 . あなたのご職業は。パート勤めの方は勤め人としてお答えください。（ は1つ）

自営業 家族 従業者	{	1 農林漁業	4.3	勤め人	{	4 管理職	6.6	無職者	{	10 専業主婦	14.5
		2 商工・サービス業	10.5			5 専門技術職・教員	8.1			11 学生	2.1
		3 自由業	2.5			6 事務職	9.8			12 年金・恩給生活者	9.7
						7 労務職	11.0			13 その他無職	4.0
						8 販売・サービス職	7.7				
		9 主婦（パート勤め）	9.0			30.4					
		17.3				52.2					

（注）パート勤め的主婦の方は、9に、それ以外のお勤めの方は4～8のいずれか1つに をつけてください。

（前問で 1～10 と答えた方にお聞きします）

F 4 - 1 . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。主婦（パート勤め）あるいは専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。

1 農林漁業	7.6	6 金融・保険業	2.5
2 製造業	21.1	7 電気・ガス・水道業	2.0
3 卸・小売業、飲食店	15.2	8 サービス業	21.8
4 運輸・通信業	5.8	9 公務員	8.5
5 建設・不動産業	12.8	10 その他（具体的に ）	2.0

（全員にお聞きします）

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

（夫婦で同じ程度という場合などは、「1 はい」に をつけてください。）

1	2
はい	いいえ
55.2	44.6

F 6 . あなた（および配偶者）の昨年1年間の収入（税込み）は、次のどの区分に入りますか。（ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。）（ は1つ）

1 収入はない	5.9	4 1,000万円～1,500万円未満	6.4
2 500万円未満	53.1	5 1,500万円以上	2.0
3 500万円～1,000万円未満	30.2		

F 7 . あなた（および配偶者）は収入（生活費）をどのようなかたちで得ていますか。
以下から、あてはまるものをお選びください。（ はいくつでも）

1	給料（賃金）	66.7	6	株式などの配当や運用益	1.7
2	事業からの収益	18.5	7	預金など貯蓄の取り崩し	6.2
3	アパートなどの不動産からの賃貸料	4.1	8	家族や国などからの援助	3.0
4	年金	22.5	9	その他（具体的に ）	0.2
5	利子収入	1.7	10	収入はない	1.8

↓
(F 8 へ進む)

（前問で 1～9 のいずれかに をつけた方にお聞きします）

F 7 - 1 . 前問で、あなたが をおつけになったものの中で、最も金額の多いものを1つ選んでください。（ は1つ）

1	給料（賃金）	63.5	6	株式などの配当や運用益	0.0
2	事業からの収益	14.9	7	預金など貯蓄の取り崩し	1.0
3	アパートなどの不動産からの賃貸料	1.5	8	家族や国などからの援助	1.5
4	年金	17.3	9	その他（具体的に ）	0.1
5	利子収入	0.0			

（全員にお聞きします）

F 8 . あなた（および配偶者）の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。（ は1つ）

1	貯蓄はない	18.1	4	1,000万円～2,000万円未満	9.4
2	500万円未満	44.5	5	2,000万円以上	7.9
3	500万円～1,000万円未満	16.4			

F 9 . あなた（および配偶者）の借入残高は、次のどの区分に入りますか。（ は1つ）
（注）クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入れは除きます。

1	借入金はない	57.0	4	1,000万円～2,000万円未満	8.4
2	500万円未満	18.6	5	2,000万円～5,000万円未満	5.9
3	500万円～1,000万円未満	6.8	6	5,000万円以上	0.5

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。（ は1つ）

1	1人住まい世帯	5.4	4	親と子と孫の3世代世帯	18.0
2	夫婦だけ世帯	21.4	5	その他（具体的に ）	2.0
3	親と子の2世代世帯	52.9			

F 11 . あなた (またはご家族) のお住まいは。 (1 つ)

1	土地付き持ち家	71.1	4	借家	6.1
2	持ち家のマンション	3.8	5	賃貸マンション・アパート	10.8
3	借地持ち家	5.3	6	社宅、官舎、寮	2.8

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。 (1 つ)

1	2	3
熱心に見る	あまり見ない	まったく見ない
30.4	58.5	11.0